

はばたき

令和4年11月4日
世羅西中学校
学校だより(第8号)
<http://www.edu.town.sera.hiroshima.jp/seranishi-jhs/>



第40回文化発表会 10月23日(日)

今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、様々な制約の中での開催となりましたが、多くの方々にご理解とご協力いただき、無事開催することができました。ありがとうございました。さて、生徒は「紡ぐ(つむぐ)」のテーマのもと、一人一人が心を結び、思いを一つに紡ぎ、49人全員で思いのこもった行事を創り上げることができました。



全校合唱 前後左右の距離をとっての合唱! 心と心を紡ぐ合唱になりました!

16代目 明神の舞

今年度のテーマを「超越」とし、先代の思いを受け継ぎ、伝統の演技を更に磨き高め、先代を超える「明神の舞」を創り上げようとして取り組んできました。当日は、参観者にはもちろん、来場することができなかった家族や地域の方、指導して下さった講師の方にも感謝の気持ちを届けようと、全力で頑張りました。また、創立40周年を記念して、保護者の方が動画の上映をしてくださいました。ありがとうございました。



吹奏楽部演奏 感染症対策に配慮しながら、練習に取り組んできました。感謝の気持ちを届けることができました!



キラキラのダンスで、吹奏楽部の演奏を盛り上げました。

ふれあいグラウンドゴルフ大会(1年) 10月6日(木)

3年ぶりの開催となりました。1年生は、計画・準備・運営等、様々な活動場面において、感染症対策に配慮しながら取り組みました。当日は、25名の老人クラブの方の参加により、大変盛り上がった大会となりました。



PTA 研修会 10月28日(金)

一般財団法人日本ペットトーク普及協会の崎谷俊明様を講師にお招きして、「PEP TALK 思春期のわが子へ送る親からのエール」と題して講演をしていただきました。当日は、26名が参加し、有意義な研修となりました。



世羅郡中学校駅伝競走大会 10月8日(土)

世羅西中学校から、3チームが参加しました。選手達は、支えてくださる全ての方々への感謝の気持ちを、精一杯の走りで体現していました。



女子は2位になり、県駅伝出場を決めました!



一緒に練習してきた仲間への思いを全力でつなぎました!

発表朝会 10月26日(水) 「Win-Win を考える」<抜粋>



私は陸上部に所属しています。相手や自分自身に勝つためにタイムを縮めようと努力を重ね、駅伝ではチームの誰よりも良い記録を残したいと思って練習に取り組んできました。一生懸命2年 吉實 聖斗 取り組んだ結果、成果が表れたら嬉しいし、思った通りの結果が得られなければ悔しいです。それが当たり前だと思っていたので、「Win-Win を考える」ことについて調べると「自分も勝って相手も勝つ」という考え方に違和感を持ちました。…(中略)…

調べていく中で、「Win-Win」の関係の大切さを知ることができました。例えば、会社員が取引をする際、自社と他者の双方に利益があるような提案をすることでよりよい結果や良い関係につながることを学びました。

学校の生活では、例えばテストの点数を競い合っている、お互いに教え合うことで、自分は考えが整理されたり、友達は苦手なところを理解できたりします。部活動でも、自分の結果さえよければいいという考えではなく、辛そうにしているライバルに言葉をかけ、お互いに高め合うことが出来ます。

2学期は行事もたくさんあります。話し合いや取り組みの中で、自分のことばかり考えた言動ではなく、「Win-Win」である関係性を作って生活していきます。



私は Win-Win な関係は、人と人が思いやることでつくることができると思っています。人と人が思いやることは、自分のことだけを考えるのではなく、相手の気持ちを汲み取り行動することで、Win-Win だと思います。

例えば、勉強です。自分が問題をはやく解き終わったときに、周りで困っている人に教えてあげれば、問題を解ける人が一人増えます。教えた側は復習にもなり、教えてもらった人は理解することができ、お互いが Win-Win です。しかし、相手や周りの様子を見て気持ちを汲み取るのは難しいことです。そこで大切なのが、積極性だと思います。「ここがわからないから、教えてくれる?」や「大丈夫?ここ解ける?」など、自分から積極的に行動することで、Win-Win の種を作ることができます。

私も以前、部活の時に上手くプレーができずに悩んでいた時、先輩方がアドバイスをしてくださいました。お礼を言うと、上手にプレーできると自分もうれしいし、チームも強くなるから Win-Win だねと言われました。私はとても温かい気持ちになり、このような関係は素晴らしいと思えました。一見難しいと思われる Win-Win な関係ですが、実は日常の中であって、積極的に行動することで増えていくと思います。

“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

保護者の方・生徒の皆さん

この度は、ベビー服や子供服を、準備してくださり、ありがとうございました。
保護者の方々・生徒の皆さんのお陰で、1533着集まりました。
今回集まった服を難民支援として、難民の方々に届けます。
ご協力、ありがとうございました。



世羅西中学校2年生一同

日	曜	11月の行事予定	日	曜	12月の行事予定
1	火	せら教育の日 古典の日	1	木	スクールカウンセラー相談日
2	水	修学旅行前健診	2	金	
3	木	〈文化の日〉	3	土	
4	金	第3回 3年確認テスト	4	日	服部杯ふれあいマラソン大会
5	土		5	月	健康教育(2年)
6	日		6	火	
7	月	スクールカウンセラー相談日	7	水	せらにし教育研究会(英語交流授業)
8	火	せらにし教育研究会	8	木	
9	水		9	金	学校安全の日 生徒会役員選挙
10	木		10	土	
11	金	学校安全の日	11	日	甲山駅伝 つばき杯剣道大会
12	土		12	月	
13	日	中国中学校駅伝	13	火	3年保育実習
14	月	スクールカウンセラー相談日	14	水	
15	火		15	木	生徒委員会 スクールカウンセラー相談日
16	水	家族の日 修学旅行(2年)	16	金	標準学力調査(1・2年)
17	木	3年三者懇談会 修学旅行(2年)	17	土	
18	金	3年三者懇談会 修学旅行(2年)	18	日	
19	土		19	月	
20	日		20	火	期末懇談会
21	月	避難訓練	21	水	期末懇談会 家族の日
22	火	登校指導	22	木	期末懇談会
23	水	〈勤労感謝の日〉	23	金	非行防止教室 終業式
24	木	救命救急講習(2年) 生徒委員会 歯科検診 登校指導 スクールカウンセラー相談日	24	土	冬季休業~1/9
25	金	期末テスト 登校指導	25	日	
26	土		26	月	生徒会執行部研修会
27	日		27	火	
28	月	期末テスト 登校指導	28	水	仕事納め
29	火	期末テスト 登校指導	29	木	〈年末休日〉
30	水	せらにしふれあいコンサート(自衛隊) 10:30~11:30	30	金	〈年末休日〉
			31	土	〈年末休日〉

紹介

逃げずに夢に挑みたい



中山 心希 (世羅町立世羅西中2年)

青いスタートライン

高田由紀子著
(ポプラ社)



迷ったらやる。そのことに価値を感じても、実行に移せることは少ない。そんな私にびつたりの本と出会った。

この本は、いつも友達ペースに合わせてしまう小学生的な蠼太が主人公。遠泳大会で自分を変える決意をし、未来を見つめて泳ぎだすと夏が描かれている。

前年の遠泳大会を見て、1ヶ月前泳を目標にした蠼太。自身が下した決断を前向きにとらえる半面、家族の反対や完泳への不安に押しつぶされそうになる。

私は本を置いて考えた。困難に挑戦するのは怖いけれど、「泳ぐ」という選択

から逃げてはいけない。不安や反対を理由に泳がないことを選んでは、いつまでも自分は変わらない。

蠼太はコーチの夏生に泳ぎを教えてもらい、猛練習に励んだ。必死で努力する姿に私は心を動かされた。

大会当日、以前とは全く違う前向きな気持ちで挑むことができたのは、それまでの努力の過程が蠼太を支えていたからだと思う。

しかし、遠泳は順調には進まなかった。途中で足がすり、海水を飲み、諦めたという感情が心を支配した。挫折しかけた蠼太を奮い立たせたのは「変わりたい」という熱い思いだった。

一度決めたことをやり通す挑戦することは怖いことだと心のどこかで思っていた。蠼太の姿を見て、それは間違っていることだと気付かされた。新しいことに挑戦して、細く夢、未来へと突き進むことが美しい姿なのだと感じることもできた。

【国語科】読書推進活動の取組

*この記事は、中国新聞に掲載されたものです。
新聞社から許可を得て使用しています。